

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年11月11日

【四半期会計期間】 第148期第2四半期
(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

【会社名】 株式会社ダイヘン

【英訳名】 DAIHEN Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 田 尻 哲 也

【本店の所在の場所】 大阪市淀川区田川2丁目1番11号

【電話番号】 大阪06(6301)1212番(代表)

【事務連絡者氏名】 総合企画室経理部長 田 宮 豊

【最寄りの連絡場所】 東京都港区愛宕1丁目3番4号

【電話番号】 東京03(5733)2940番

【事務連絡者氏名】 東京支社長 村 田 光 一

【縦覧に供する場所】 株式会社ダイヘン東京支社
(東京都港区愛宕1丁目3番4号)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

証券会員制法人福岡証券取引所
(福岡市中央区天神2丁目14番2号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第147期 第2四半期 連結累計期間	第148期 第2四半期 連結累計期間	第147期
会計期間		自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高	(百万円)	42,265	46,822	92,185
経常利益	(百万円)	1,115	2,450	4,234
四半期(当期)純利益	(百万円)	420	1,667	2,281
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	448	1,147	1,852
純資産額	(百万円)	46,590	49,092	48,423
総資産額	(百万円)	103,401	105,220	105,641
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	3.24	12.86	17.59
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	42.8	44.4	43.6
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	3,164	2,384	5,749
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	1,317	1,591	3,196
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	1,234	1,827	3,097
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	9,824	7,567	8,575

回次		第147期 第2四半期 連結会計期間	第148期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	0.92	4.31

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 第147期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間のダイヘングループを取り巻く経営環境は、急激な円高の影響はありましたものの、中国をはじめ新興国における需要の伸びに支えられ、総じて緩やかな回復基調となりました。

このような状況の下、各事業の業績の確保・向上にグループをあげて取り組んでまいりました結果、売上高は468億2千2百万円と前年同四半期に比べ10.8%の増加となりました。利益面につきましては、売上高の増加に伴い、営業利益は24億3千1百万円と前年同四半期に比べ10億2千4百万円の増加、経常利益は24億5千万円と前年同四半期に比べ13億3千4百万円の増加、四半期純利益につきましても16億6千7百万円と前年同四半期に比べ12億4千7百万円の増加となりました。なお、受注高につきましては469億3千2百万円と前年同四半期に比べ4.6%の減少となりました。

セグメント別の状況につきましては、以下のとおりであります。

電力機器事業では、国内民需向け変圧器の販売が拡大したことにより、売上高は231億3千5百万円と前年同四半期に比べ6.3%の増加となりましたが、素材価格高騰の影響もあり、営業利益は16億3千8百万円と前年同四半期に比べ1億7千4百万円の減益となりました。受注高は245億6千6百万円と前年同四半期に比べ6.5%の減少となりました。

溶接メカトロ事業では、中国を中心にアジア新興国での需要が大幅に伸張いたしました結果、売上高は165億5千4百万円と前年同四半期に比べ22.0%の増加、営業利益は14億1千6百万円と前年同四半期に比べ11億5千8百万円の増益となりました。また、受注高につきましても173億7千4百万円と前年同四半期に比べ16.3%の増加となりました。

半導体機器事業では、夏場以降に半導体関連の設備投資に抑制の動きが見られましたが、スマートフォン等の高機能モバイル機器の需要拡大を背景に高精細液晶や有機ELといった中小型パネル製造装置向け製品の販売が引き続き堅調に推移いたしました結果、売上高は70億8千万円と前年同四半期に比べ4.2%の増加、営業利益は4億2千9百万円と前年同四半期に比べ1億3千2百万円の増益となりましたが、受注高は48億4千4百万円と前年同四半期に比べ38.1%の減少となりました。

また、その他の売上高は1億4千7百万円、営業利益は3千7百万円となり、前年同四半期からの大きな変動はありません。

なお、平成23年10月にタイで発生した大規模な洪水により、溶接メカトロ事業の生産拠点の一つであるOTC DAIHEN Asia Co.,Ltd.の工場が浸水被害を受け、現在操業を停止しております。工場周辺への立入が困難なため、被害の詳細は確認できておりませんが、国内外の生産拠点等で代替生産を行い生産量を確保するとともに、OTC DAIHEN Asia Co.,Ltd.の早期の操業再開に向けた準備を進めております。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、1,052億2千万円と前連結会計年度末に比べ4億2千1百万円減少いたしました。これは、手元流動性の圧縮による現金及び預金の減少が主な要因であります。

負債合計は、短期借入金をはじめとした有利子負債の返済を進めましたことなどにより、561億2千7百万円と前連結会計年度末に比べ10億9千万円減少いたしました。

純資産合計は、主に利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ6億6千9百万円増加し、490億9千2百万円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の43.6%から0.8ポイント上昇して44.4%となりました。また、1株当たり純資産額は前連結会計年度末に比べ1.5%増の360円32銭になりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ10億8百万円減少し、75億6千7百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加による資金の減少影響がありましたが、税金等調整前四半期純利益の増加、売上債権の減少や仕入債務の増加などによる資金の増加影響がそれを上回り、23億8千4百万円の資金の増加となりました。前年同四半期との対比では、仕入債務の減少などにより7億8千万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出などにより、15億9千1百万円の資金の減少となり、前年同四半期との対比では、有形固定資産の取得による支出の増加により2億7千3百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済などにより、18億2千7百万円の資金の減少となりました。前年同四半期との対比では、短期借入金の減少などにより5億9千3百万円の減少となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は12億9千4百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	540,000,000
計	540,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	135,516,455	135,516,455	東京証券取引所 市場第一部 大阪証券取引所 市場第一部 福岡証券取引所	単元株式数は 1,000株で あります。
計	135,516,455	135,516,455		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年9月30日		135,516,455		10,596		10,023

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	7,636	5.63
関西電力株式会社	大阪府大阪市北区中之島3丁目6-16	7,304	5.39
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11-3	5,746	4.24
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1-2	5,429	4.01
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A.LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT (常任代理人 株式会社みずほ コーポレート銀行決済営業部)	WOOLGATE HOUSE, COLEMAN STREET LONDON EC2P 2HD, ENGLAND (東京都中央区月島4丁目16-13)	3,778	2.79
住友信託銀行株式会社	大阪府大阪市中央区北浜4丁目5-33	3,293	2.43
日新電機株式会社	京都府京都市右京区梅津高畝町47	3,204	2.36
三井住友海上火災保険株式会社	東京都中央区新川2丁目27-2	2,636	1.95
ダイヘングループ社員持株会	大阪府大阪市淀川区田川2丁目1-11	2,384	1.76
NOMURA ASSET MANAGEMENT U.K. LIMITED SUB A/C EVERGREEN NOMINEES LTD (常任代理人 株式会社三菱東 京UFJ銀行決済事業部)	24MONUMENT STREET LONDON EC3R 8AJ THE UNITED KINGDOM (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	1,927	1.42
計		43,339	31.98

- (注) 1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社及び日本マスタートラスト信託銀行株式会社の所有株式は、すべて信託業務に係るものであります。
- 2 当社は、5,432千株(4.01%)の自己株式を保有しております。なお、当該株式は会社法第308条第2項の規定により、議決権を有しておりません。
- 3 スパークス・アセット・マネジメント投信株式会社から、平成18年4月13日付で大量保有報告書(変更報告書)の提出があり(報告義務発生日 平成18年3月31日)、次のとおり株式を所有している旨報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記「大株主の状況」には含めておりません。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
スパークス・アセット・ マネジメント投信株式会社	東京都品川区大崎一丁目11番2号 ゲートシティ大崎	4,149	3.06

- 4 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ及びその共同保有者から、平成21年5月8日付で大量保有報告書(変更報告書)の提出があり(報告義務発生日 平成21年4月27日)、次のとおり株式を所有している旨報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記「大株主の状況」には含めておりません。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番 1号	1,342	0.99
三菱UFJ信託銀行株式会 社	東京都千代田区丸の内一丁目4番 5号	3,312	2.44
三菱UFJ証券株式会社	東京都千代田区丸の内二丁目4番 1号	942	0.70
三菱UFJ投信株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番 5号	699	0.52

- 5 株式会社りそな銀行から、平成21年9月24日付で大量保有報告書(変更報告書)の提出があり(報告義務発生日 平成21年9月15日)、次のとおり株式を所有している旨報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記「大株主の状況」には含めておりません。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
株式会社りそな銀行	大阪市中央区備後町2丁目2番1号	5,521	4.07

- 6 フィデリティ投信株式会社から、平成23年2月4日付で大量保有報告書(変更報告書)の提出があり(報告義務発生日 平成23年1月31日)、次のとおり株式を所有している旨報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記「大株主の状況」には含めておりません。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
フィデリティ投信株式会社	東京都港区虎ノ門4丁目3番1号 城山トラストタワー	5,346	3.94

- 7 三井住友トラスト・ホールディングス株式会社及びその共同保有者から、平成23年7月6日付で大量保有報告書(変更報告書)の提出があり(報告義務発生日 平成23年6月30日)、次のとおり株式を所有している旨報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記「大株主の状況」には株主名簿上の所有株式数を記載しております。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
住友信託銀行株式会社	大阪市中央区北浜四丁目5番33号	5,383	3.97
中央三井アセット信託銀行株式会社	東京都港区芝三丁目23番1号	1,524	1.12
日興アセットマネジメント株式会社	東京都港区赤坂九丁目7番1号 ミッドタウン・タワー	218	0.16

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 5,432,000		
	(相互保有株式) 普通株式 1,010,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 128,023,000	128,023	
単元未満株式	普通株式 1,051,455		
発行済株式総数	135,516,455		
総株主の議決権		128,023	

(注) 1 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己保有株式及び相互保有株式が次のとおり含まれております。

自己保有株式 995株
相互保有株式 四変テック(株) 560株

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) (株)ダイヘン	大阪府大阪市淀川区田川 2丁目1番11号	5,432,000		5,432,000	4.01
(相互保有株式) 四変テック(株)	香川県仲多度郡多度津町 桜川2丁目1-97	1,010,000		1,010,000	0.75
計		6,442,000		6,442,000	4.75

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,591	7,583
受取手形及び売掛金	20,880	19,850
商品及び製品	9,132	10,072
仕掛品	4,956	5,461
原材料及び貯蔵品	8,182	9,579
繰延税金資産	1,765	1,899
その他	2,247	1,728
貸倒引当金	49	40
流動資産合計	55,707	56,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,295	12,837
機械装置及び運搬具（純額）	4,611	4,597
工具、器具及び備品（純額）	863	849
土地	6,403	6,410
リース資産（純額）	287	272
建設仮勘定	185	188
有形固定資産合計	25,646	25,156
無形固定資産		
のれん	446	395
ソフトウェア	3,817	3,859
リース資産	22	18
その他	222	220
無形固定資産合計	4,508	4,493
投資その他の資産		
投資有価証券	11,417	10,709
出資金	652	660
長期貸付金	23	21
長期前払費用	102	57
前払年金費用	6,874	7,283
繰延税金資産	282	283
その他	575	558
貸倒引当金	150	138
投資その他の資産合計	19,778	19,436
固定資産合計	49,933	49,086
資産合計	105,641	105,220

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,970	18,645
短期借入金	7,357	6,601
1年内返済予定の長期借入金	3,757	4,126
1年内償還予定の社債	731	731
リース債務	121	127
未払法人税等	854	992
賞与引当金	1,816	1,835
役員賞与引当金	85	19
工事損失引当金	34	7
その他	2,695	2,559
流動負債合計	35,424	35,646
固定負債		
社債	457	341
長期借入金	16,448	15,662
リース債務	204	179
繰延税金負債	1,978	1,620
退職給付引当金	1,421	1,431
役員退職慰労引当金	115	90
資産除去債務	104	104
その他	1,063	1,050
固定負債合計	21,793	20,480
負債合計	57,217	56,127
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,596	10,596
資本剰余金	10,030	10,031
利益剰余金	26,750	27,963
自己株式	1,462	1,464
株主資本合計	45,915	47,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,546	997
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	1,400	1,393
その他の包括利益累計額合計	145	395
少数株主持分	2,362	2,362
純資産合計	48,423	49,092
負債純資産合計	105,641	105,220

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	42,265	46,822
売上原価	28,775	31,857
売上総利益	13,490	14,965
販売費及び一般管理費	1 12,083	1 12,533
営業利益	1,407	2,431
営業外収益		
受取利息及び配当金	128	101
持分法による投資利益	2	215
その他	255	258
営業外収益合計	386	576
営業外費用		
支払利息	222	228
売上割引	44	60
為替差損	211	190
その他	199	77
営業外費用合計	678	557
経常利益	1,115	2,450
特別利益		
貸倒引当金戻入額	44	-
特別利益合計	44	-
特別損失		
投資有価証券評価損	106	71
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	104	-
特別損失合計	210	71
税金等調整前四半期純利益	949	2,379
法人税等	478	690
少数株主損益調整前四半期純利益	470	1,688
少数株主利益	50	20
四半期純利益	420	1,667

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	470	1,688
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	539	526
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	332	11
持分法適用会社に対する持分相当額	47	24
その他の包括利益合計	919	540
四半期包括利益	448	1,147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	478	1,126
少数株主に係る四半期包括利益	30	21

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	949	2,379
減価償却費	2,120	2,010
のれん償却額	5	51
貸倒引当金の増減額(は減少)	36	3
賞与引当金の増減額(は減少)	52	19
固定資産撤去損失引当金の増減額(は減少)	115	-
退職給付引当金の増減額(は減少)	48	10
前払年金費用の増減額(は増加)	582	409
受取利息及び受取配当金	128	101
支払利息	222	228
持分法による投資損益(は益)	2	215
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	104	-
投資有価証券評価損益(は益)	106	71
売上債権の増減額(は増加)	1,939	1,050
たな卸資産の増減額(は増加)	3,417	2,800
仕入債務の増減額(は減少)	3,778	600
その他	848	98
小計	3,995	2,994
利息及び配当金の受取額	127	101
利息の支払額	214	219
法人税等の支払額	744	492
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,164	2,384
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	3	-
定期預金の払戻による収入	6	-
有形固定資産の取得による支出	788	1,003
有形固定資産の売却による収入	69	7
無形固定資産の取得による支出	585	498
投資有価証券の取得による支出	4	2
子会社株式の取得による支出	-	82
その他	12	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,317	1,591
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	166	755
長期借入金の返済による支出	400	414
社債の償還による支出	115	115
自己株式の取得による支出	2	2
配当金の支払額	455	455
その他	93	83
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,234	1,827
現金及び現金同等物に係る換算差額	61	26
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	551	1,008
現金及び現金同等物の期首残高	9,273	8,575
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,824	7,567

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
1. 税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成23年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)	
(株)オーエフ青森	45百万円	(株)オーエフ青森	40百万円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費の主なもの

前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
運賃及び荷造費	1,399百万円	運賃及び荷造費	1,441百万円
旅費交通費及び通信費	494百万円	旅費交通費及び通信費	488百万円
給料手当及び福利費	3,692百万円	給料手当及び福利費	3,849百万円
賞与引当金繰入額	900百万円	賞与引当金繰入額	964百万円
役員賞与引当金繰入額	19百万円	役員賞与引当金繰入額	19百万円
役員退職慰労引当金繰入額	15百万円	役員退職慰労引当金繰入額	14百万円
退職給付費用	379百万円	退職給付費用	388百万円
減価償却費	695百万円	減価償却費	693百万円
研究開発費	762百万円	研究開発費	880百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び預金	9,949百万円	7,583百万円
預入期間が3か月を超える 定期預金	124百万円	16百万円
現金及び現金同等物	9,824百万円	7,567百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	455	3.50	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

- 2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年11月9日 取締役会	普通株式	455	3.50	平成22年9月30日	平成22年12月3日	利益剰余金

3 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	455	3.50	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

- 2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月8日 取締役会	普通株式	455	3.50	平成23年9月30日	平成23年12月5日	利益剰余金

3 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電力機器 事業	溶接メカトロ ン事業	半導体機器 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,754	13,562	6,794	42,111	154	42,265
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	5		7		7
計	21,756	13,567	6,794	42,118	154	42,273
セグメント利益	1,813	257	296	2,366	40	2,407

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及びスポーツ施設運営事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,366
「その他」の区分の利益	40
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	1,000
四半期連結損益計算書の営業利益	1,407

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電力機器 事業	溶接メカトロ ン事業	半導体機器 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,134	16,460	7,080	46,675	147	46,822
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	94		95		95
計	23,135	16,554	7,080	46,770	147	46,917
セグメント利益	1,638	1,416	429	3,483	37	3,520

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及びスポーツ施設運営事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,483
「その他」の区分の利益	37
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	1,089
四半期連結損益計算書の営業利益	2,431

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	3円24銭	12円86銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	420	1,667
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	420	1,667
普通株式の期中平均株式数(株)	129,720,490	129,695,685

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第148期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)中間配当について、平成23年11月8日開催の取締役会において、平成23年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	455百万円
1株当たりの金額	3円50銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成23年12月5日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月11日

株式会社ダイヘン
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 川 井 一 男 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田 中 基 博 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ダイヘンの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ダイヘン及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。